

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ガイダンス	2	身近な生活の中には多くの技術が存在していることに気づき、技術と生活や社会、環境とのかかわりについて知り、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して、技術が最適化されてきたことを知る。 ①技術の役割 ②身の回りの製品の技術	技術が生活や社会でどのように役に立っているか説明できる。 身近な製品に含まれる技術は、どのように考えられているか説明できる。 技術分野の学習の流れを説明できる。 問題解決の手順、技術のしくみや方法の最適化について説明できる。	材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している。身の回りの製品にさまざまな技術が用いられていることを説明しようとしている。
生活や社会と材料と加工の技術	4	材料と加工の技術に関する製品に込められた技術のしくみに気づく。	材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。	材料と加工の技術に込められた問題解決の句について考える	材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。
材料を利用するための技術	4	生活や社会における問題を、材料と加工の技術によって解決する活動を通して、身に付ける。製図のルールとかき方	ものづくりをするために必要な図の種類を説明できる。図面から寸法などの情報を読み取ることができる。等角図、第三角法による正投影図がかけられる。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想する。	課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返っている。
製作のための技能	16	木材の特徴をふまえた木材の加工技術について知る。材料取り(けがき)切断切削組立て仕上げ。けがきの方法を知り、正確に材料取りができる。両刃のこぎりの使い方を知る。工具を使って正確に効率よく木材の切削ができる。くぎを用いて正確に木材の組立てができる。研磨や塗装による仕上げができる。	適切な方法で製作に必要なけがきができる。両刃のこぎりや機械を使って木材を切断できる。仮組立てを行い接合部のけがきができる。検査を行い、必要に応じて修正をしながら正しく組立てができる。木材の表面に塗装できる。	問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	便利な生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
材料を利用するための技術	4	木材の性質と種類 木材や木質材料の種類と特徴を知る	木材は、細長い管状の細胞が束になった構造であることを説明できる。木材や木質材料の性質の違いや、その使用方法を説明できる。	製品における材料の使い分けについて、それぞれの特徴に気づくことができる。	材料と加工の技術が活用されている製品の工夫を説明しようとしている。
これからの材料と加工の技術	2	これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方を考える活動などを通して、身に付ける。	材料と加工の技術の見方・考え方について説明できる。	新たな材料と加工の技術の技術について、よい点と課題をあげて評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用する方法について考えることができる。	材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用する方法や、新たに改良や応用する方法について考えようとしている。
「生活や社会を支える情報の技術」	3	生活や社会を支える情報の技術についてCADの利用などを通して、身に付ける。	情報の表現、記録等に関わる基礎的な技術の仕組み及びCADの操作ができる。	情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。